

## 【地域ヘルスケア産業支援ファンド】 株式会社ファミリーネットワークシステムズに対する出資決定について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社（以下「REVICキャピタル」という。）が、株式会社AGSコンサルティングと共同で運営する「地域ヘルスケア産業支援ファンド（以下「本ファンド」という。）」は、株式会社ファミリーネットワークシステムズ（以下「ファミリーネットワークシステムズ」という。）の第三者割当増資を引き受けるとともに、REVICキャピタルから同社に対して取締役及び監査役を派遣することを決定しましたので、お知らせいたします。

ファミリーネットワークシステムズは、「宅配で豊かな暮らし」を実現するために、お酒・お米の宅配専門店として1999年に設立され、関西圏を中心に、宅配に加えて、買物代行等の利用者の細やかなニーズに対応する「御用聞きサービス」をフランチャイズ展開することにより、事業拡大をはかってきました。その後、高齢で外出が困難な在宅シニアを始めとした“買物弱者”に向けて、健康的で美味しい冷凍加工惣菜を販売する総合宅配事業「わんまいる」をスタートし、2015年11月期より本格稼働した通販事業では、在宅シニアだけでなく、アクティブシニア、単身者及び主婦等の幅広い層にターゲットを拡げ、利用者を増やしてきました。

地域包括ケアシステムでは、高齢者の在宅生活を支えるため、多様な主体による生活支援の重層的なサービス提供が必要であると謳われており、そのひとつとして「配食サービス」もクローズアップされています。その背景には、「食えること」が生命維持に必要な不可欠であるとともに、生活の質の向上が期待できることが挙げられます。地域包括ケアシステムの確立に資するため、今般、ファミリーネットワークシステムズは、本ファンドからの投資資金を活用し、「わんまいる」の個人宅向けの販売を加速させるとともに、新たにヘルスケア事業者向けの販売を展開していきます。

同社は、買物弱者に対して、美味しく、栄養価の高い食事を提供することで、買物弱者支援対策に対処するとともに、高齢者の健康寿命の延伸に寄与することにより、医療・介護費の抑制と地域経済の活性化に貢献していくことを目指しております。機構は、本ファンドから

の出資及びREVICキャピタルからの役員派遣を通じて、同社の事業の展開を支援し、加速させてまいります。

本ファンドは、地域包括ケアシステムの実現などを目的し、今後も地域金融機関等と協力しながら、地域ヘルスケア産業の活性化、雇用創出に資する事業への成長資金の供給などを行うことにより、地域経済の活性化を支援してまいります。

投融資先の概要は以下の通りです。

企業名	株式会社ファミリーネットワークシステムズ
設立	1999(平成11)年6月
本社所在地	大阪市西淀川区
代表取締役	堀田 茂
事業内容	総合宅配事業「わんまいる」 ※販売形態は「直営店」「FC」「通販」「企業向け販売」の4形態
ホームページ	<a href="http://www.onemile.jp/">http://www.onemile.jp/</a>

以 上

<お問い合わせ・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部：TEL 03-6266-0590